

3月4日、この日は旧暦2月初午の日にあたり、境内の和合三社わごうさんしゃにおいて初午祭を斎行し、令和の新元号を機に「御嶽山湯立神楽おんたけさん ゆ たてかぐら」を執行致しました。

湯立神楽神事と申しますのは、日本の伝統的な神楽の形式のひとつです。別名を「湯神楽ゆかぐら」とも言います。

人が生きる中で最も必要な水と火、その清らかな水と火で沸かしたお湯を神様にお供えし、釜で煮えたぎらせたお湯を撒くことによって、人の心を始め、世の中の諸々の災厄を清めるのであると伝えられています。

当日は生憎の天気でテントの中での祭典でしたが、舞踊る熱湯と立ち昇る湯気に包まれ五穀豊穰、参拝者皆様の清祓え、無病息災、家業繁栄、所願成就を御祈願致しました。











